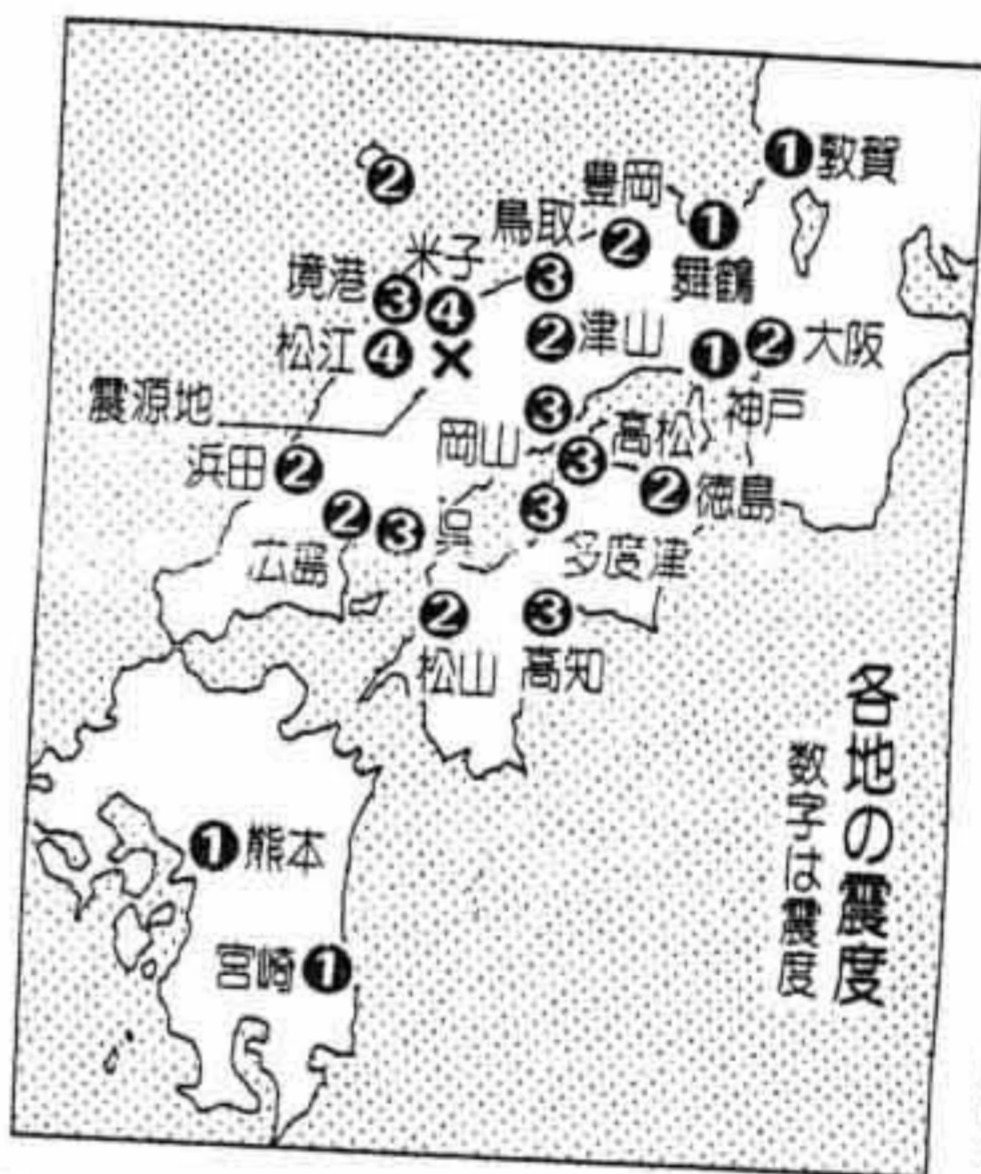


松江、米子で震度4

M 6.0 震源地は能義郡内

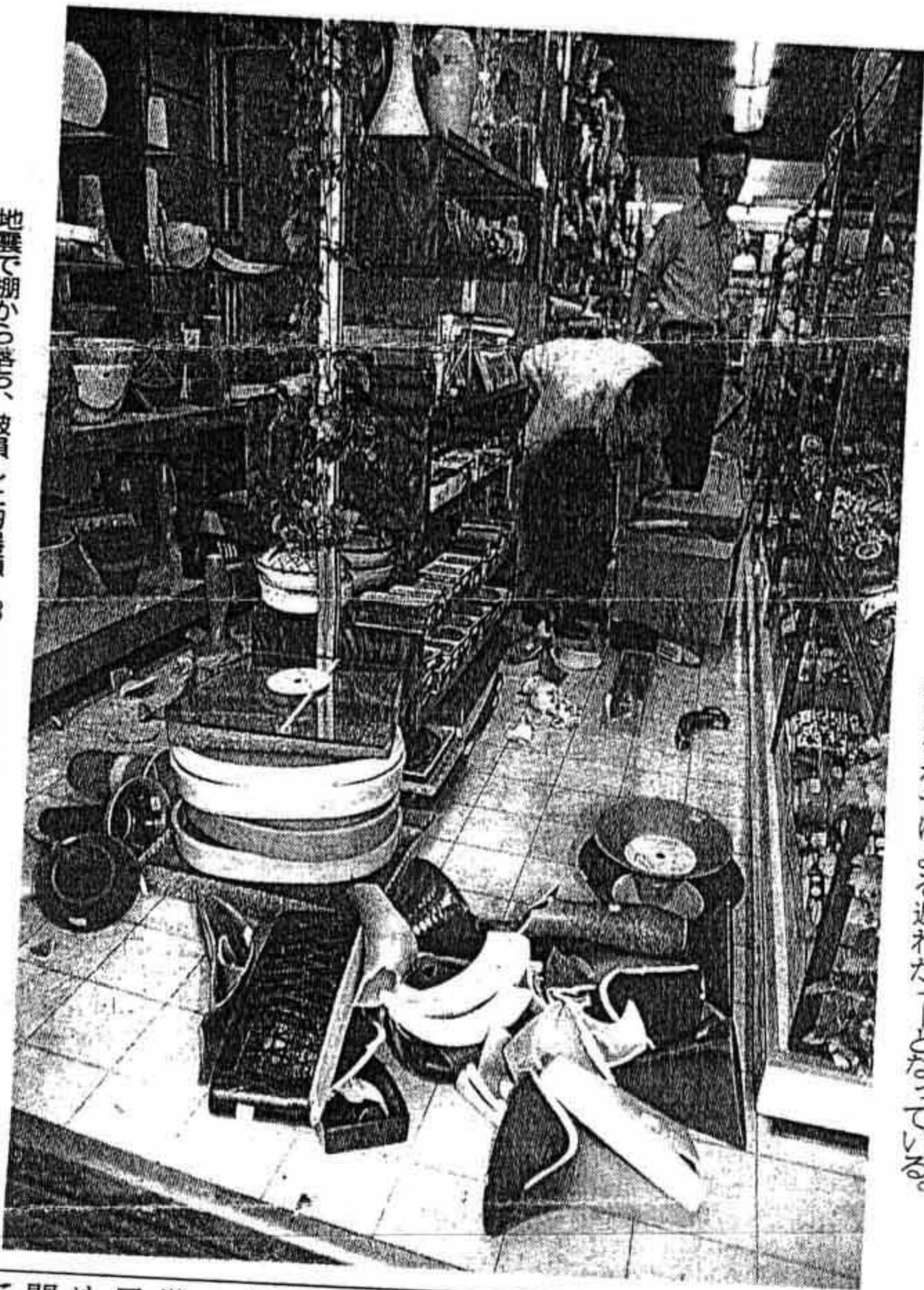
二十八日午前十時二十九分、島根県東部を震源地と



する地震があり、松江、米子で震度4の中震を記録するなど山陰地方中部を中心に中四国の広い範囲で観測された。震源の深さは地表に近いところ、マグニチュード(M)は6.0と推定される。松江で震度4を記録したのは昭和二十一年以来四十五年ぶり。津波の恐れはなかったが、JR伯備線、山陰線、木次線で徐行運転や一部運転見合わせによる遅れがとまっている。

(20、22、23面に関連記事)

松江地方気象台によると、震源地は広瀬、伯太町辺りで、震源の深さは地表から十メートルと推定される。同気象台では地震計の針が約一分間振れ続いた。また一分後の午前十時三十分、松江で震度2、米子、境港で震度1(微震)の余震があった。前夜の二十七日午後十一時五十九分には、鳥取県西部を震源地とする震度3の地震があり、米子で震度3、松江で震度2、浜田、西郷、岡山で震度1を記録している。



地震で棚から落ち、破損した陶器類。28日午前11時半、松江市白濁本町の陶器店

鳥取、島根両県警本部のまきめ(同日午後五時現在)では、伯太、広瀬、日南各町を中心に建物の亀裂九件、民家や役所の屋根がわら落下が相次ぎ発生したものの、けが人は出ていない。

伯太町母里では地震後約九分間、千二百一十一戸が送電ストップし、停電した。

JR関係では山陰線、伯備線、木次線、境線で運転見合わせや徐行運転のため、特急やくも1号が一時二千四分遅れたのを最高に二千九本が遅れ、二千五百人の足が乱れた。

激しい揺れ、震える住民

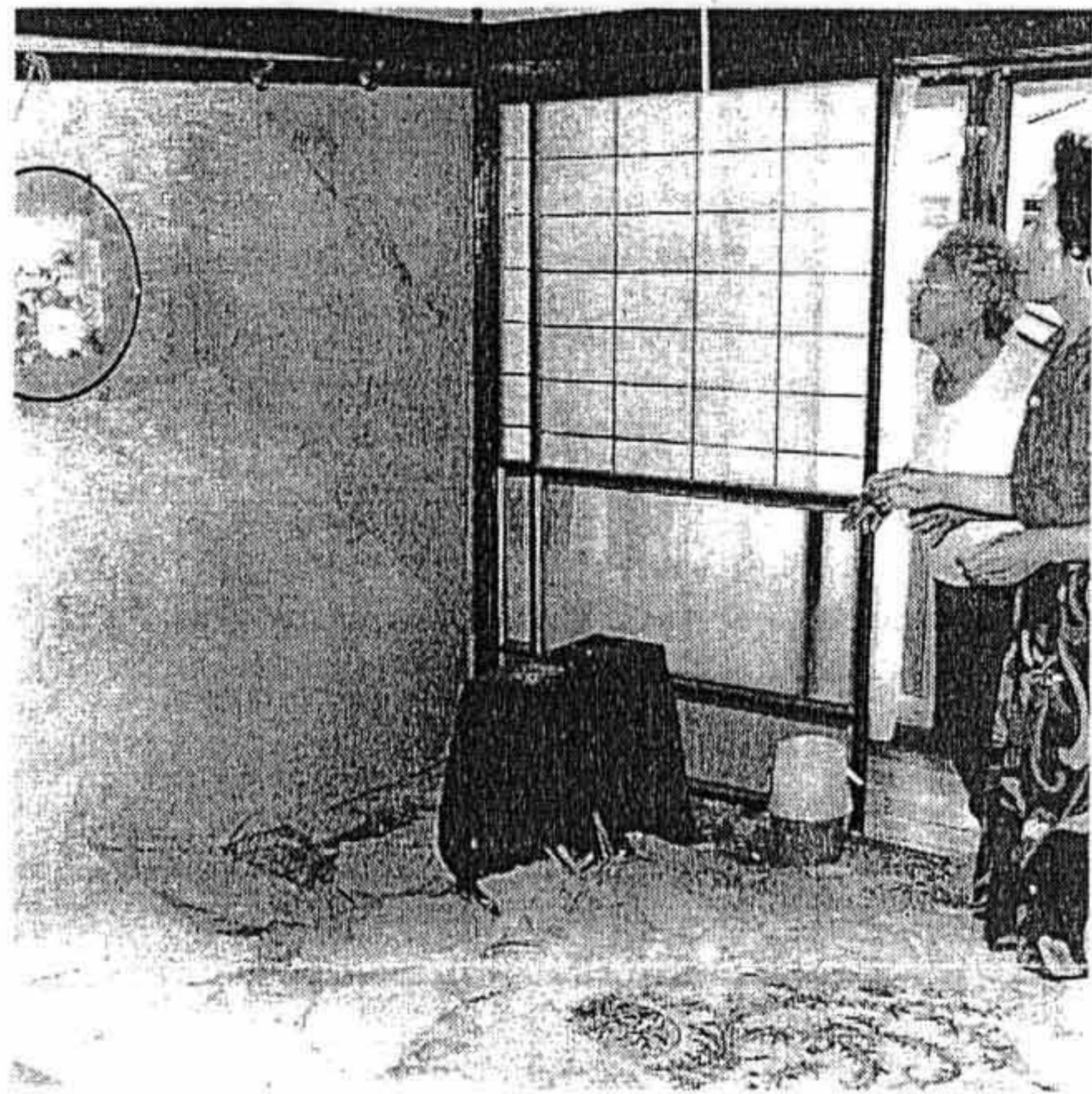
山陰中部震
山地

壁に亀裂、倒壊も

役場、学校にも被害

「キーン、怖い、家が壊れる」「強い揺れだ。火の始末は大丈夫か」二十八日午前、前後に続いて山陰中部を襲った直下型の地震は、島根県伯太町、島根県日南町など震源地周辺だけでなく、松江、米子両市は震度4の中震を記録、多くの市民を恐怖に陥れた。一昨年から島根県西部を中心にした群発地震があるだけに「いつまた発生するか」と不安を抱く住民も。松江、島根両地方気象台では慌たしさと緊迫感がある、観測、情報伝達に追われた。また各市町村役場でも被害の調査に追われ、職員は地震の事態把握に一日中走り回っていた。

深夜と午前の二回発生し、朽家原や広瀬町の町道など一町役場ではガラス窓五枚が、割れたり木造一軒建ての庁舎にひび割れ、出た。伯太町では、推定され、伯太町などの老民家三戸のかわらが損壊。一舎下敷力所に、大きいもの



塗り壁が落ちた民家の客間—日南町矢戸

で一日前後のひび割れが生じた。母里小学校でも、コンクリートの渡り廊下や校舎にひび割れ。県道安来—伯太—日南線の赤原地区で

落石があり、同日夜、片側通行となった。また峠之内地区では数十メートルにわたる石の恐れがあり、三十日夕まで通行止め規制が取られた。

住民らは「映画を見ているように家や道路が大きく揺れ動いた。思わずその場に座り込んでしまった」と地震後、家の周りを歩いていた。

隣の広瀬町でも民家のブロック壁(長さ五メートル、高さ一・二メートル)がドサッと倒壊した。

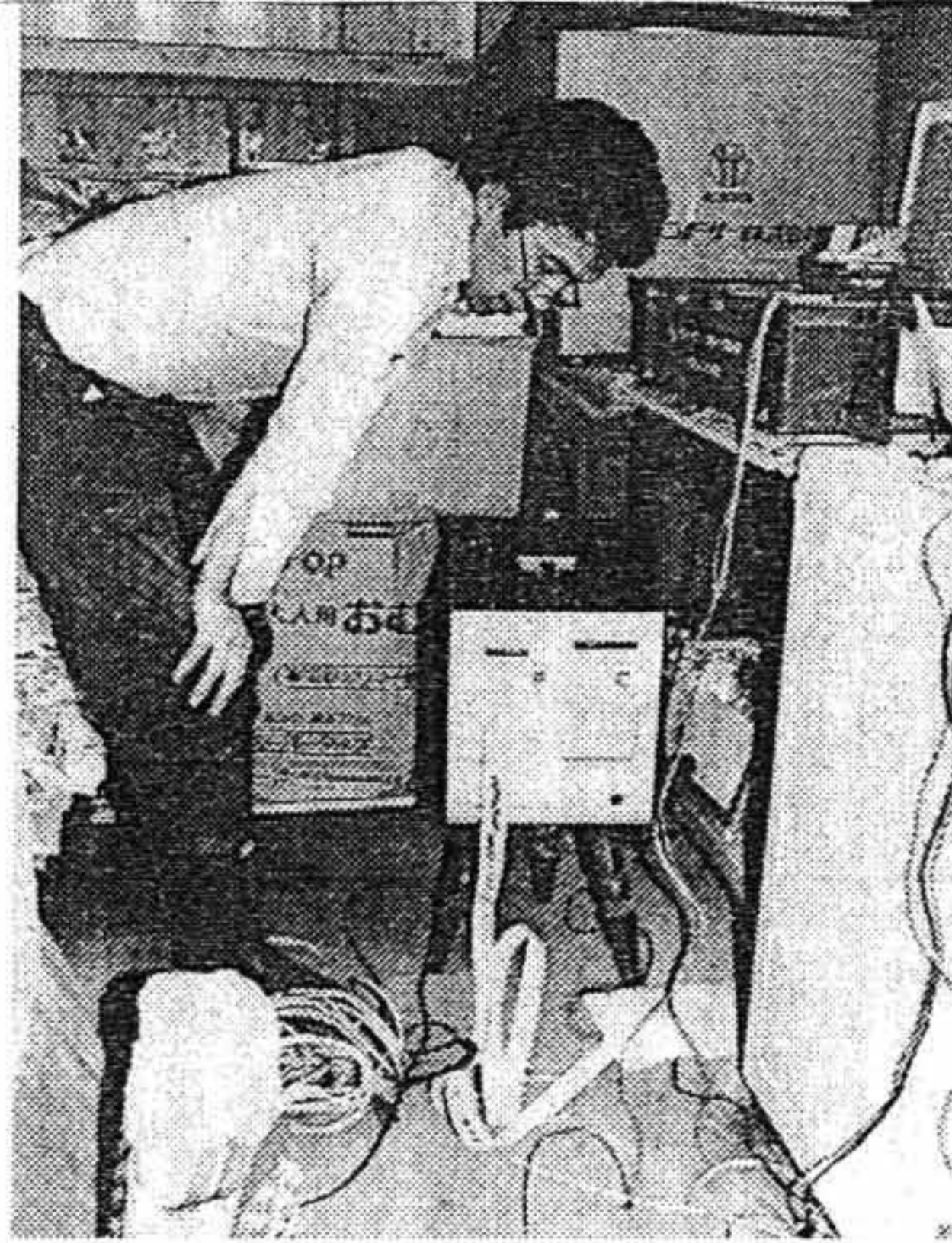
町役場庁舎に亀裂が走り、中央公民館の消火栓が破損した。震度4を記録した松江、米子両市では、商店の陳列

棚から商品が落下するなど、突然クラックときた地震に悲鳴も。鹿島町の中国電力島根原発では点検の結果、異常がないとして運転を続けた。

樹に縦に音を立てて激しく揺れた日南町。矢戸地区では「生まれて初めての激しい横揺れ。もう駄目」と驚愕した。二、三分の揺れは長く、怖くて助げなかつた」と驚きめた顔で、亀裂の入ったモルタル壁を

見る住民の姿も見られた。木次、伯備線で一時運転を見合わせ

JR米子支社のまごめで一時運転見合わせ、徐行運転とも、この日正午前後に解除した。



地震波形記録計を設置してテストする小泉助手

広瀬町に臨時地震観測点 京大

予知体制を強化

山陰両県を二十八日午前、襲ったマグニチュード6・0の地震で、京大地震予知研究センター鳥取観測所は二十九日、震源地の広瀬町に臨時観測点を設置した。今回を含め一昨年からの県境付近で群発する地震の観測体制を強化するのが狙いで、今後どのように地震活動が推移するかを見守っていく。

臨時観測点は、同町祖父谷の無職石田美佐子さん(五五方)の自宅に設置された。同観測所の小泉尚嗣助手らが、この日午前十一時半ごろから石田さん方自宅に地震波形を見る記録計を設け、約五十メートルの山斜面に地震計を置いた。記録計は震動の規模をテープに書き込むアナログ型と、フロッピーで記録するデジタル型の二機種。地震

計から電気信号で震動が伝わり、アンプを通じて波形を記録する仕組みで、微小地震をキャッチできるような高感度に設定した。

過去百年の記録では、県境付近(主に鳥取県側)でマグニチュード5・6の地震が八回発生。このうち元年以降が今回を含めて三回目となったほか、元年十月から一年間で約二百回の群発地震が起きている。

小泉助手は「この付近は近年、地下の活動が活発化しており、観測強化の必要が出てきた。揺れの推移を細かく記録し、解析したい」と話している。

地震被害26件

県警は二十九日、県東部を中心に二十八日午前、あった地震の被害状況をまとめた。

被害は計二十六件。内訳は、公共施設十七、民家六、道路三。伯太町、広瀬町、松江市が被害の中心で、役場や高校の壁や床にひびが入ったり、民家の屋根がわらが落ちたりした。

鳥取県
西部地震

広瀬に臨時観測地

京都大 県境付近の監視強化

山陰地方を襲ったマグニチュード(M)6の地震から一夜明けた二十九日、京都大学防災研究所付属鳥取微小地震観測所(鳥取市円護寺)は、震源地近くの鳥根県広瀬町に研究スタッフを派遣、臨時地震観測地点を設けた。同観測所が「鳥

取県西部地震」に絡んで、鳥根県内に臨時観測地点を設置したのは初めてのケース。今後、微小地震などを詳細に観測し、活発化の兆しをみせている鳥取・鳥根両県境付近の活動域の監視を強化する。

この日、観測地点を設け

たのは、同町祖父谷(おじだに)の無職石田美佐子さん(五十五)方の裏山。同観測所の小泉尚嗣文部教官助手(三十三)二人が、車で現地入り。小泉文部教官助手らは早速、石田さん宅に二十四時間地震の波形などを記録するレコーダーを

セッティング。そこから約五十メートル離れた裏山の岩盤に、磁石とコイルが内蔵された直径約五センチ、高さ約十センチの円柱形の地震計を設置した。

二十八日朝の地震では、群発する西部地震地域から西北西に十数キロ離れた同町

所では、鳥取県西伯町下中谷など同県内にしか臨時観測地点がなかったため、新たな震源地の北約六キロの祖父谷に、地震計を設置した。

小泉文部教官助手は「西部地震と二十八日の地震の関係は、断定はできないが絡みはあると思う。M6クラスの地震が発生すると、三カ月には余震が起きるので、少なくとも二、三カ月は臨時観測点を設け、細かく監視したい」と話している。



24時間地震記録計機をセットする京都大学防災研究所付属鳥取微小地震観測所の小泉文部教官助手—鳥根県広瀬町祖父谷の石田さん方

阪神大震災の教訓とこへ

市町村 マニユアル不徹底 非常招集行き届かず

四日発生した鳥取県西部を震源とする地震では、マニユアルの不徹底などから職員の非常招集が行き届かない市町村があるなど、平成七年の阪神大震災の教訓が必ずしも生かされていない実態が浮き彫りになった。

県西部地震

阪神大震災を教訓に県内各地、県内各市町村に気象庁では別の震度計を設置。地域防災計画の見直しも県と二十九市町村が終えている。

溝口町は地域防災計画の見直しの中で「震度4以上で課長級以上は出動する」ことを盛り込んだ。しかし、震度5弱を記録した今回の地震で課長級以上十二人の出動が記録された。



倒れてバラバラになった墓地の灯ろう (日野町下榎地区の墓地)

加藤節雄総務課長は「これだけ地震が相次いでおり、地震の際の出動態勢についても早急に整備しなければならぬ」と不備を認める。県消防防災課によ

り、地震の際の出動態勢についても早急に整備しなければならぬ」と不備を認める。県消防防災課によ

た西伯町は、地域防災計画の見直しを阪神大震災前に済ませていたため地震の際の出動態勢については盛り込んでいなかった。今回出動したのも担当の係長一人だった。

M5級の対策検討必要

鳥大・西田教授が警告

八月末から鳥取県西部の鎌倉山南方断層付近で相次いでいる群発地震について、鳥取大学工学部の西田良平教授(地震学)は平成元年から二年にかけての活動域が再び活発化したことを物語るという。この地域での群発地震はまだ続く予想される。今後ともマグニチュード(M)5クラスの地震が発生するとの認識を立てて対策を検討する必要があると警告する。

西田教授は「今回の地震は、震度5が記録されたことはほとんどなかったが、今回の地震では日野、溝口、西伯の三町で「5弱」が観測された。西田教授は「気象庁の観測だけでは震源から遠いなどの理由で観測されなかっただけで、これまでも震度5クラスの地震が起きていたはず。県の観測体制が整った成果であり、より早い対応が取れるようになった」と、防災面での活用を期待を寄せている。

一方、境港市では震度4以上にすると担当職員を呼び出すシステムが正常に作動し、地震発生から四十分後に総務課の職員を中心に十人が集会。二組に分かれて市内の被害状況を調査するなどの対応。県が設置した震度計では同市の震度は3だったが、出動の基準はあくまで気象庁が出す震度になるという。

500人の保護者

行政サイド 500人が全国シンポジウム

岸本



なぎさの再生などについて話し合ったパネルディスカッション

ていける横山由紀子さんは、磯焼けの問題に触れながら「人工の環境の中で生き物を育てるのは大変だが、自然の海は自然の手で多くの命をばぐんている」と、貴重な自然のなぎさの保護を訴えた。



書道芸術院は全国で二番目に古い書道団体で、会員や書道講習会、海外展など積極的に活動を展開している。今回は創立五十周年事業



新日本新聞社は、入学・就職試験、ビジネス文書の作成などに役立つ漢字能力検定試験を次の通り実施します。全国規模の公開試験です。ふるってご参加下さい。

漢字能力検定試験

11月2日 県内3会場

- ◇とき 11月2日
- ◇検定料 9級〜7級 8340円▽東部会場(日)午前9時30分、同(小)午後1時から、同(中)午後1時から、同(高)午後1時から、所要時間(中学以下程度)各20〜30分(高)21分
- ◇ところ 西部会場(新日本新聞社西部本社)初段(同)3000円▽ふれあいホール▽中部会場(同)4000円▽3段(同)4500円(5)ずれも内税。初段は10月23日(木)必着
- ◇申し込み 申込書(8級〜1000円▽初段1000円▽2・3段500円▽初段2・3段検定問題1000円▽関西西部本社(〒60003)米子市西三町三〇六〇(069)34-8801(5冊以上5000円)を添えて現金書留で
- ◇申し込み 申込書(8級〜1000円▽初段1000円▽2・3段500円▽初段2・3段検定問題1000円▽関西西部本社(〒60003)米子市西三町三〇六〇(069)34-8801(5冊以上5000円)を添えて現金書留で

今日の本社催し

☆後援事業
△5日(小)田和正コンサート(午後6時半開演)鳥根県民会館(▽)▽6日(小)根県民会館(▽)▽7日(小)根県民会館(▽)▽8日(小)根県民会館(▽)▽9日(小)根県民会館(▽)▽10日(小)根県民会館(▽)▽11日(小)根県民会館(▽)▽12日(小)根県民会館(▽)▽13日(小)根県民会館(▽)▽14日(小)根県民会館(▽)▽15日(小)根県民会館(▽)▽16日(小)根県民会館(▽)▽17日(小)根県民会館(▽)▽18日(小)根県民会館(▽)▽19日(小)根県民会館(▽)▽20日(小)根県民会館(▽)▽21日(小)根県民会館(▽)▽22日(小)根県民会館(▽)▽23日(小)根県民会館(▽)▽24日(小)根県民会館(▽)▽25日(小)根県民会館(▽)▽26日(小)根県民会館(▽)▽27日(小)根県民会館(▽)▽28日(小)根県民会館(▽)▽29日(小)根県民会館(▽)▽30日(小)根県民会館(▽)▽31日(小)根県民会館(▽)

☆後援事業
△5日(小)田和正コンサート(午後6時半開演)鳥根県民会館(▽)▽6日(小)根県民会館(▽)▽7日(小)根県民会館(▽)▽8日(小)根県民会館(▽)▽9日(小)根県民会館(▽)▽10日(小)根県民会館(▽)▽11日(小)根県民会館(▽)▽12日(小)根県民会館(▽)▽13日(小)根県民会館(▽)▽14日(小)根県民会館(▽)▽15日(小)根県民会館(▽)▽16日(小)根県民会館(▽)▽17日(小)根県民会館(▽)▽18日(小)根県民会館(▽)▽19日(小)根県民会館(▽)▽20日(小)根県民会館(▽)▽21日(小)根県民会館(▽)▽22日(小)根県民会館(▽)▽23日(小)根県民会館(▽)▽24日(小)根県民会館(▽)▽25日(小)根県民会館(▽)▽26日(小)根県民会館(▽)▽27日(小)根県民会館(▽)▽28日(小)根県民会館(▽)▽29日(小)根県民会館(▽)▽30日(小)根県民会館(▽)▽31日(小)根県民会館(▽)

平成12年10月29日 熊谷謙作氏

平成12年鳥取県西部地震に伴う聞き取り調査

平成12年 月 日実施

- 1.あなたの性別と年齢をお答え下さい ①男性 才 ②女性 才
 - 2.地震の感じ方はどうでしたか。
 - 3.地震が起きたときにどこにいましたか。
 - 4.地震のとき、最初にどんな行動をしましたか。
 - 5.地震のとき火気を使っていましたか。
 - 6.使用していた火気から火災が起こりそうになりましたか。
 - 7.火災が起こりそうになったその理由は何ですか。
 - 8.火の始末をされましたか。
 - 9.消火器などを備えていましたか。
 - 10.非常持ち出し品の備えはありましたか。
 - 11.家具などの転倒落下防止はしていましたか。
 - 12.転倒落下したものはなんですか。
 - 13.あなたの家の周りではどのような被害が発生しましたか。
 - 14.あなたの家の被害はどのくらいでしたか。①全壊 ②半壊 ③一部壊 ④被害なし
 - 15.あなたや近所の方で怪我はありませんでしたか。
 - 16.怪我をした方は何が原因ですか。
 - 17.地震後に近所の方達とどんな関係をされましたか。
 - 18.地震時に最も有効であったものはどれですか。
① テレビ、ラジオの情報 ②近所の連携 ③防災無線等の情報 ④電話 ⑤その他
 - 19.地震の後、一番困ったことは何ですか。
① 電気 ②水道 ③家屋損壊 ④ガス ⑤電話 ⑥人手不足 ⑦その他
- ※ 今回の地震で特に変わったことはなんですか。
- ① 家具の転倒状況
 - ② 家の揺れ方。
 - ③ 地震の音
 - ④ その他特徴的なこと。

災害現場写真



安来市切川町 建物全壊状況



安来市新十神町 液状化地区県知事視察



安来市市役所 災害対策本部



同上 屋根シート配布状況



安来市吉佐町 土蔵壁崩落状況



同上 屋根損壊状況



安来市門生町 土蔵壁崩落状況



安来市門生町 河川堤防地割れ現象



安来市恵乃島町 海岸堤防破壊沈下状況



安来市新十神町 住宅地（埋め立て地）液状化現象



伯太町須山 母屋下を縦断する地割れ



同上 石垣崩落状況



伯太町須山 母屋下を縦断する地割れ



同上 墓石全倒壊状況



伯太町福留地内 住宅被災状況 (避難所開設地域)

